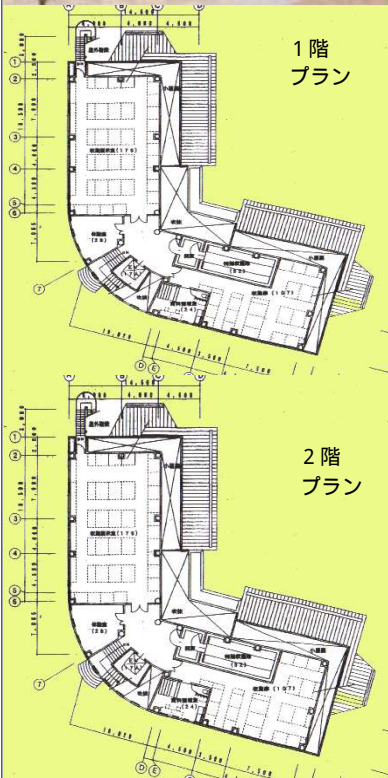


# 東村山 歴史とロマン

## 平成19～20年度で完成



完成予想図



### (仮称) 縄文体験館着工へ 歴史と文化の拠点づくり

第5号  
2007.5.26  
編集・発行  
市北西部「歴史とロマン」わくわくする市民の会  
東村山市本町2-5-2  
:042-391-0020

#### 平成18年度事業報告

- 【役員会】  
5月21日 総会(市民センター別館)  
講演会「水のめぐみ下宅部遺跡～10年の成長」  
講師：石川正行氏
- 6月15日、9月21日、10月20日  
11月16日、3月15日、4月20日  
5月17日、5月14日 役員会7回
- 【事業部会】  
11月19日 第3回「歴史と散策」と手打ちうどん事業実施
- 【広報部会】  
5月21日 第4号発行  
【研修部会】  
5月14日 菖蒲まつりガイド打ち合わせ会  
6月2日 新規ガイドボランティア説明会(応募5名)  
6月10日、11日、17日、18日 菖蒲まつりガイドガイドボランティア打ち合わせ会  
10月17日 打ち合わせ会  
11月3日 地蔵まつりガイド  
11月19日 歴史散策ガイド

市民の皆さんが待ちに待った遺跡資料館が着工の運びとなりました。全国的な話題となった下宅部遺跡出土の貴重な歴史資料を収蔵し、展示・活用できる施設が北山の麓に建設されます。

東村山市北西部地区「歴史とロマン」わくわくするまちづくり市民の会をはじめ、市民の幅広い要望を受けて、市では「(仮称)北山たいけん館」構想を立案しました。野口町三丁目の焼失したかやぶき民家のあった旧民家の跡地に下宅部遺跡出土品を収蔵・展示し、体験学習に役立てる「(仮称)縄文体験館」の建設とかやぶき民家を復元して里山の暮らしを後世に伝えることができ

「(仮称)里山体験館」です。計画は具体化しましたが、財政難のため着工が延期されておりました。しかし、平成19年度から20年度にかけての「(仮称)縄文体験館」の建設が正式に決まりました。

平成19年10月着工、同年2月建物竣工、同年2月までは外構工事も竣工して、平成21年4月開館予定となっております。

建物は鉄骨二階建て、904㎡、一階は体験学習、展示・フリースペース、収蔵展示室、フリーギャラリ、事務室他。二階は学習室、ボランティアルーム、収蔵室他。

縄文人の生活を学ぶ体験学習施設

下宅部遺跡は低湿地のため木材や種、動物の骨

など風化や腐敗しないのでそのままだけり、当時の生活の様子を知ることができるとに価値がありです。話題となった漆製品や文字の書かれた縄文土器も展示されます。つくりかけの丸木舟だといわれる巨大な木製品は人目を引き論議の的になることでしょう。

展示のみでなく、出土品の活用を図ることにより体験学習に役立つ施設として活用されることとなるでしょう。

待たれる「(仮称)里山体験館」の建設

焼失した古民家(旧武藤家)は東村山市の有形民俗文化財でした。昔の生活の様子をしのぶ貴重な建物でした。焼失はしましたが幸いなことに最初取り壊す時に、構造、寸法等記録し、部材を写真に納めておりました。再建は十分に可能です。

北山の麓の中に「(仮称)里山体験館」古民家が再建されれば、市内外から大勢の人たちが訪れるでしょう。

里山である北山は四季折々の自然散策には最適な場所です。人々のふれ合い、やすらぎの場ともなることが待たれます。

